

平成26年2月24日
国土交通省
延岡河川国道事務所

〈記者発表資料〉

3月8日東九州道（北浦IC～須美江IC）供用にむけて

東九州道トンネル防災訓練について

～トンネル内事故・火災等にそなえて～

国土交通省延岡河川国道事務所が整備を進めてきた東九州道（北浦IC～須美江IC間）が、3月8日15時に供用を開始します。

今回の訓練は、トンネル内での交通事故等を想定し、関係機関が情報連絡、事故処理、人命救助、交通規制等、迅速かつ円滑な対応を目的として実施します。

また、3月からはじまる『春の火災予防週間』をふまえ、トンネル火災に備えた訓練もあわせて実施します。

訓練日時： 平成26年2月28日（金）14：30～15：30

訓練場所： 東九州道（北浦IC～須美江IC間）北浦トンネル起点側付近
※別紙-2を参照。

参加機関： 国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所
宮崎県警察本部 高速道路交通警察隊・延岡警察署
延岡市消防本部・延岡消防署
宮崎大学医学部附属病院（ドクターヘリ）

訓練内容は、訓練実施概要（別紙-1）のとおりです。

当日に取材を希望される際は、国土交通省延岡河川国道事務所までご連絡ください。

また、取材される皆様は、別紙-2によりご通行頂きますようお願いいたします。

＜お問い合わせ＞

（訓練全般）国土交通省 延岡河川国道事務所（Tel：0982-31-1155）

副所長（道路） 中川 英一 （内線 205）

建設専門官 西山 俊郎 （内線 431）

（規制訓練）延岡警察署 （Tel：0982-22-0110）

副署長 松田 晃

（救急訓練）延岡市消防本部 （Tel：0982-22-7105）

警防課長 永谷 正男

別紙－1

東九州道（北浦 IC～須美江 IC 間）トンネル防災訓練実施概要

1. 日 時

（実施日）平成26年2月28日（金） 14:30～15:30

2. 場 所

東九州道（北浦 IC～須美江 IC 間） 延岡市北浦町古江
北浦トンネル起点側坑口（北浦トンネル電気室）付近

3. 参加機関

- (1) 国土交通省 延岡河川国道事務所
- (2) 宮崎県警察本部高速道路交通警察隊・延岡警察署
- (3) 延岡市消防本部・延岡消防署
- (4) 宮崎大学医学部付属病院（ドクターヘリ）
- (5) その他 関係協力機関

4. 訓練の目的

この訓練は、平成26年3月8日に供用開始する「東九州道（北浦 IC～須美江 IC 間）」における交通事故等に備え、迅速かつ円滑な救急救命活動を行うため、

- ① 国土交通省、警察、消防等の関係機関の連携強化を図る。
 - ② 各関係機関の役割分担を再認識する。
 - ③ トンネル内非常用設備等の操作の習熟を図る。
 - ④ 平成26年春季火災予防の一環として、高速道路上での車両火災を想定することで、市民に対して防火に関する意識の高揚を図る。
- などを目的として実施する訓練である。

5. 事故想定

2月28日（金）14時30分頃、東九州道（北浦 IC～須美江 IC 間）の「北浦トンネル（L=2,417m）」において、上り車線（大分方面）走行中の普通乗用車が中央分離帯（剛性中央分離帯）に衝突し、後続車の普通トラックがこれに衝突する事故が発生。

事故により、大破した普通乗用車には負傷した運転手1名・同乗者1名が取り残され、もう一方のトラック運転手1名も負傷しているものの、辛うじて自力で車外へ脱出。

トラック運転手は近くの非常電話を使い（国土交通省 延岡河川国道事務所）に事故の通報を行った。

事故後、後続車両が二次災害に巻き込まれる事は無かったが、事故の影響により現場付近の上り車線（大分方面）には通行車両が滞留しているため、大型の消防車両は事故現場に到着できない状況である。

通行規制後、事故現場に到着した消防隊は人命最優先として救出活動にあたるが、救出に時間を要すると判断し、ドクターヘリの医師と連携して救助活動を継続した。救出完了後、事故の影響によりトラックの燃料タンクから洩れ出した軽油がエンジン部分で過熱され引火しトンネル内で車両火災に至る事となった為、消防隊は消火活動を開始する。

別紙－２ 訓練実施場所及び経路図

訓練実施場所

※駐車場所では、路肩に縦列駐車をお願いします。

